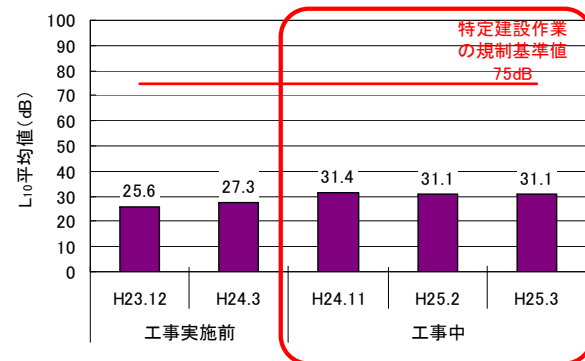


(11) 振動

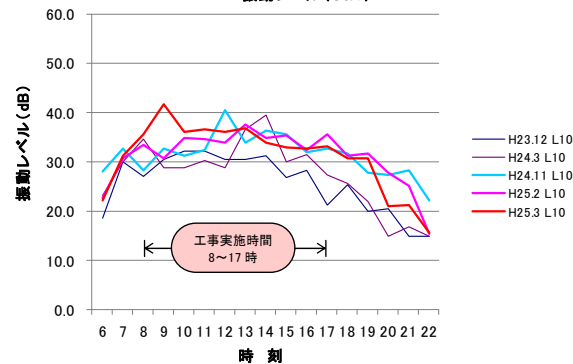
【参考資料 I-147～I-149 参照】

評価項目	視点	今年度の調査結果概要	評価概要
工事实施前と実施中の変化状況	工事の影響把握	今年度の工事实施中における L10 の平均値の範囲は 29.1dB～37.6dB であった。地点別に見ると、St. 1 は 31.1dB～31.4dB、St. 2 は 29.1dB～37.6dB であった。	- 特定建設作業規制基準値の 75dB を約 40dB 下回るものであった。 - 工事前後の比較では、L10 の平均値は、St. 1 では 5～6 dB 程度、St. 2 でも 4～12dB 程度高かった。工事後で高くなっているが、特定建設作業規制基準値の 75dB より約 40dB 低い値であり、基準値以下に抑えられている。

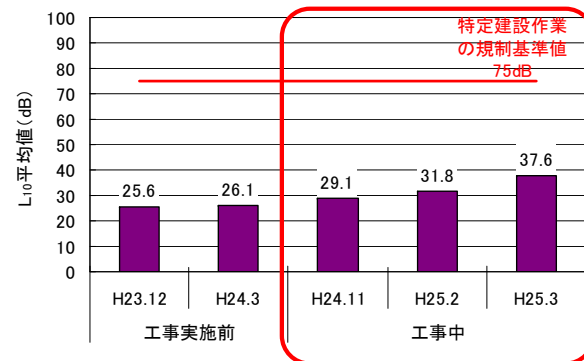
St. 1 ダム堤体直上流左岸



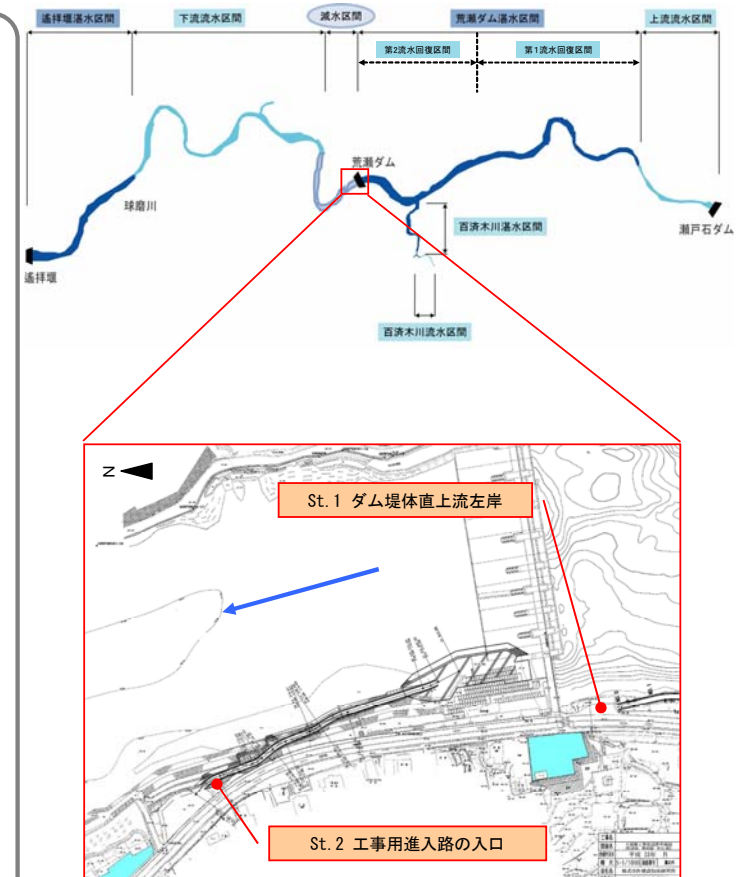
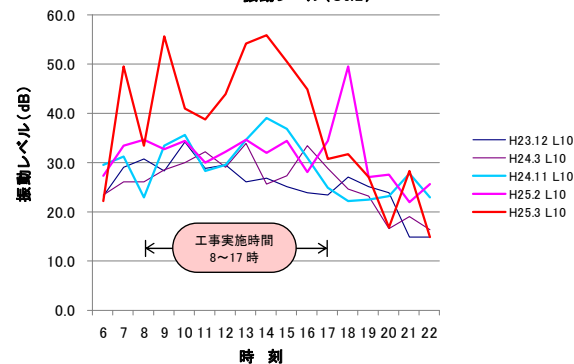
振動レベル (St.1)



St. 2 工事用進入路の入口



振動レベル (St.2)

【用語の解説】 L₁₀

・ある観測時間内において、観測時間の 10% の時間で、ある振動数を超えている場合、その振動数のこと。下図の例では、「A 秒+B 秒+C 秒」が T/10 となる 75dB が L₁₀ である。

